

第75回 GAORA 番組審議会記録(2021年12月開催)

第75回番組審議会が12月9日(木)に開催され、以下の番組について審議を行い委員の皆様から次のようなご意見をいただきました。

<審議番組> フィギュアスケーター本田真凜のすべらないクッキング(#3)
初回放送:2021年11月6日(土) 10:30~11:00

<番組概要>

フィギュアスケートの元世界ジュニア女王、本田真凜(20歳)が初の冠番組で手料理に挑戦したオフシーズン限定の料理バラエティー番組。氷上の姿とは違って変わって、番組では手料理を披露し、本田は自然体な魅力をふりまいている。

アスリートフードマイスターと野菜ソムリエの資格を持つ親の秘伝のレシピでおいしくて栄養バランスも考えられた手料理に挑戦するというテーマで始まった番組は、初回から反響を受け今回の放送から15分から30分に放送時間を拡大。キッチンを飛び出して人生初のロケにも挑戦。食レポもこなしつつ、本田の地元・京都の錦市場で現地の人と触れ合いながら食材を厳選する。

おいさとフィギュアスケーターとしての体型維持を両立するヘルシーで栄養満点のレシピは真似したくなるものばかり。本田のパワーの源となっている料理の数々。シーズンが本格化するこれからの活躍に期待しながら、等身大の本田の魅力を楽しんでほしい。

<委員長総括>

■本田選手の初々しさが感じ取れ、ロケシーンもあり楽しく視聴できる番組であった。

番組の評価は、視聴者に何を見せるか、何を感じとってもらえるかによって決まってくる。今回委員の皆さんが感じた違和感は、番組を通して画面から感じ取った印象と番組企画書に記載してある「スポーツ選手のセカンドキャリアをサポートしたい」という制作者の思いにはギャップがあったのであろう。

アスリートを大切に上げていくことは、スポーツチャンネルとして必要であり大事な姿勢である。

<審議意見>委員の主な意見は次の通り。

■本田選手はリンク上では堂々としていて大きくみえるが、食レポでは初々しく料理には自信がないのか私には小さく感じた。ファンにとっては彼女を素直に応援出来る番組だが、一般視聴者にはどう映ったのであろうか。視聴ターゲットが限定的ではないだろうか。

また、料理とフィギュアスケートの関係、接点をあまり感じ取れなかった。ダンスはおちゃらけた印象で必要であったのか。彼女の得意な分野へ話を展開できればもっとよかったのではないかと感じた。

■番組は、全体を通して気楽に楽しく拝見した。番組内のダンスは、かわいらしさは出ていたが自然な感じがせず中途半端な印象が残った。食レポも言葉で表現するのは難しいと思うので、もっと「おいしい～」という自然な表情やナチュラル感を出せばよかったのではないかと感じた。料理は自信なさげで、せつかくの彼女の良さがうまく引き出せていないなと感じた。

番組企画書を後から拝見したが、視聴した感想は企画意図の「セカンドキャリアを見据えた応援やサポート」とは違う印象であった。

■全体的に楽しく視聴できた。本田選手のスケーターとしての凄さが分からなかったのも、冒頭に選手としての紹介や映像があればよかったのではないかと感じた。

番組企画書の意図とは違う印象の番組であった。料理番組としては、視聴者が後から料理を作れるようにレシピの表示に工夫があってもよかったように思う。

■彼女は自然体であったが、まだまだボキャブラリーが乏しく明るさが引き出せておらず、料理の自信の無さが伝わってきた。番組としては逆にもっとスタッフがサポートして作り込んだ方がよかったのかもしれない。

スポーツ選手のセカンドキャリアを意図した番組として彼女が適役であったのかどうか。

スポーツチャンネルの番組として、スポーツと食事についてアスリートを起用する企画は面白い。食事がアスリートの体にどう影響していくのかを解説していくような番組もありではないか。

■今回は番組時間も延長されロケ初挑戦の本田選手の初々しさによって、ロケ慣れしているはずの錦市場の方々の「自然で人間味がある会話」や、「孫をみるような優しい表情」を引き出せていると感じた。また、店先に番組ステッカーを貼ってもらうのも良いアイデアであり、まりんカメラを所々で挟み込むのも臨場感が出てよかった。

一方で、作品をダンスで表現するところは、アイドル目線で本田選手を見ている視聴者にとっては「かわいい」のであろうが、「やらされている感」が否めなかった。

■番組企画はすばらしく、「アスリートのセカンドキャリアをサポートしたい」という言葉が響いた。制作者の意気込みが強く感じ取れる熱のある企画書であった。

番組としてはまだまだ発展途上というのが正直な印象。視聴者には彼女の「初々しさ」がポジティブではなくネガティブに振れていた。彼女の自然体な魅力をもせたかったのであろうが、番組では自然体になりきっていなかった。番組を通して彼女をじっくり育てていく寛容さが必要なのであろう。

GAORA では、これらの貴重なご意見を、これからもより良い番組をお届けしていくために大いに活用させていただきます。

[審議委員]

種子田穰委員長、影山貴彦副委員長、黒田勇委員、藤井純一委員、沢松奈生子委員、森本志磨子委員、山本泰博委員（以上 7 名）

以上